

會津八一の挑戦

# 新日 あさひ 新聞

2020年

10月1日[木]～

12月13日[日]

午前10時～午後6時(午後5時30分まで受付)

休館日 | 月曜日(祝日の場合はその翌日)

## 新潟市會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 メディアシップ5階

TEL.025-282-7612 <https://aizuyaichi.or.jp>

観覧料 | 一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円

※団体20名以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

主催 | 新潟市會津八一記念館

共催 | 新潟日报社 | 後援 | BSN新潟放送

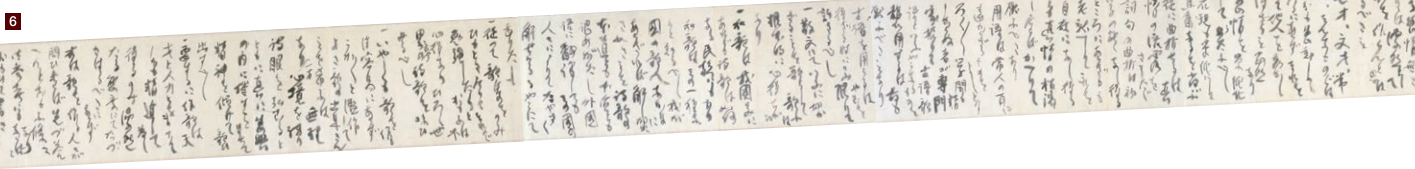
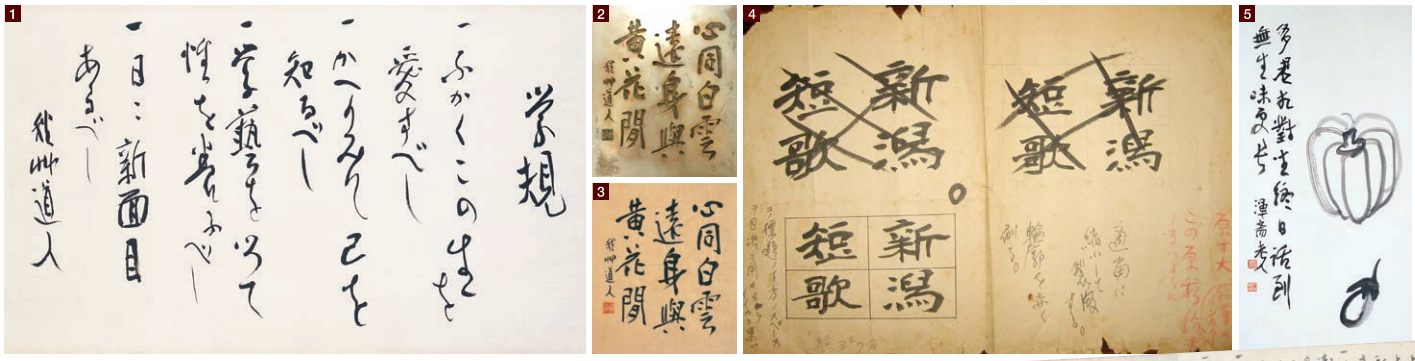
協力企業 | 浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

〈作品解説会〉

第2、4日曜日、午前11時 当館展示室にて(企画展入場券が必要です)

入館割引券  
●本券持参で2名様まで  
2割引になります  
●他の割引との併用不可  
2020.12.13まで有効





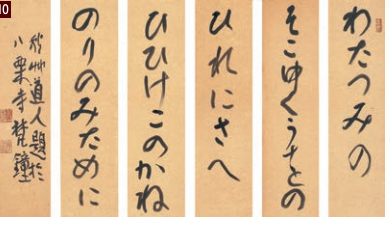
# 會

津八一はその生涯で様々な分野に関心を持ち、実践していました。門下の安藤更生は、「會津八一はレオナルド的天才であり、歌人であり、俳人であり、書家であり、画家であり、美術史学者であり、英文学者だった」と記しています。事実、八一の興味は時に天文学や民俗学に及び、制作でも油絵から工芸まで幅広いものでした。

晩年は、夕刊新潟社社長を務め、新潟市名誉市民になり、郷土文化振興の旗振り役としてプロデューサー的役割も果たしています。北方文化博物館新潟分館が、昭和27(1952)年7月から一時期、名乗っていた「新潟県近代美術館」は、新潟に根差した作品を陳列すべきである、という八一の意見もあつて命名され、看板も八一が揮毫しました。

このような様々な分野に参画する態度は、自らが作成した「学規」4か条の1則「日々新面目あるべし」に集約されています。この文言は、もともと八一の自宅に下宿していた学生のために書いたものですが、のちに自身の戒めの言葉となりました。過去の自分に留まらず、新しい自分を創り出そうとする、八一らしい言葉といえるでしょう。

本展では、八一の名品や、北方文化博物館が所蔵する郷土文化振興に関する作品資料などを紹介します。



1 會津八一「学規」(新潟市會津八一記念館蔵) 2 會津八一(書)・亀倉雄策(彫)《心同白雲遠》(1955年、新潟市會津八一記念館蔵) 3 會津八一《心同白雲遠》(原本、新潟市會津八一記念館蔵) 4 會津八一《題字「新潟短歌」》(草稿、1951年、個人蔵) 5 會津八一《南瓜茄子図・多君相對坐終日》(新潟市會津八一記念館蔵) 6 會津八一《歌をよむには》(1948年、新潟市會津八一記念館蔵) 7 佐藤哲三《風景》(1953年頃、北方文化博物館蔵) 8 會津八一《相見呵々咲》(1956年、新潟市會津八一記念館蔵) 9 石川侃齋《山水図》(北方文化博物館蔵) 10 會津八一《わたつみのひひけこのかねのりのために》(香川県・八栗寺梵鐘草稿、1955年、新潟市會津八一記念館蔵) 参考：八栗寺梵鐘 11 北方文化博物館新潟分館前に立つ會津八一(1954年以降)

## EVENT INFORMATION 関連イベント

**講演会「會津八一研究50年」**  
 [講師] 若月忠信氏(文芸評論家)  
 [日程] 2020年11月17日(火) 午後2時～  
 [会場] 日報ホール(メディアシップ2階)  
 [会費] 500円 [定員] 90名

●申し込み方法  
 ※往復はがきにイベント名と、住所、氏名、電話番号を記入し、會津八一記念館までお送りください。定員に達し次第締め切ります。※1通につき、1名様での応募といたします。



**作品鑑賞会(野中吟雪館長)**  
 [日程] 10月27日(火)  
 午後2時～ 約1時間  
 [会場] 当館展示室  
 (企画入場券が必要です)

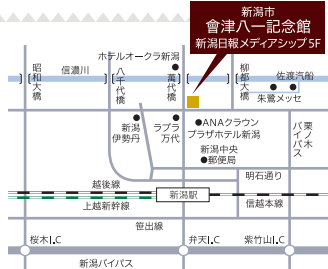
※新型コロナウイルス感染症拡大予防のためやむを得ず入場制限を行う場合があります。

**作品解説会(学芸員)**  
 [日程] 会期中の第2、4日曜日  
 (10月11、25日、11月8、22日、12月13日)  
 午前11時～ 約50分  
 [会場] 当館展示室(企画入場券が必要です)

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。  
 10月1日～11月8日：小林睦水先生(新潟県書道協会顧問、新潟市) / 11月10日～12月13日：菊田竹子先生(新潟県書道協会理事、阿賀野市)

**AIZU YAICHI**  
 AIZU YAICHI MEMORIAL MUSEUM  
 新潟市 會津八一記念館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F  
 TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614  
 当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。(階段はございません)  
 ◎交通のご案内 新潟駅から バス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港から タクシー約15分  
 ◎駐車場の案内 メディアシップ駐車場(24時間営業) 第1駐車場は220円、第2駐車場は200円(第1、第2共に30分 税込)  
 ※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。



**入館割引券**  
 ●本展覧会2名以上で  
 ●2割引引き(ただし不可  
 ●他の割引との併用不可  
 ●2020.12.15まで有効